

新しい学校生活スタート、市内小学校で入学式

4月8日、市内の小学校で入学式が行われました。

芦別小学校では、真新しい上履きにネクタイやリボンを結んだ46人の新一年生が、保護者や上級生の見守る中、歓迎の拍手を受けながら会場に入場。式中は緊張した面持ちで有村宏紀校

長先生のお話しなどにしっかり耳を傾けていました。

1年生の紹介では担任の先生から名前を呼ばれると大きな声で「はい」と手を上げて返事をし、式が終わると緊張がほぐれたのか、ホッとした様子で笑顔を見せていました。



「星に願いを」のメンバーが道の駅の木製ベンチをボランティア塗装



4月14日、「星に願いを」のメンバーによる、道の駅スタープラザ芦別に設置している木製ベンチのボランティア塗装が行われました。

「星に願いを」は、市内に在住または勤務している青年の団体です。これまで雪まつりの運営や農業まつりなど、イベント事業の参加や手伝いなどを行っています。

今回は、木製のテーブルとベンチの6組を紙やすりで塗装を削り落とし、防腐塗装を行いました。代表の太田拓寿さんは、「木製ベンチの塗装がはがれてきていたので、利用者に気持ちよく休憩してもらえるよう塗装を行いました。地元のことで、少しでも役立つことがあれば若い力で協力したいです」と意気込みを語っていました。

ハイ デミアンです 国際交流員 エッセートーク 44



A new Era 新しい時代

日本に住んでいる皆さんは、元号が変わって新しい時代となるのを楽しみにしているでしょうね。僕も同じです。

私は平成17年に日本にやって来ました。

日本に元号があるということは私にとって興味深いものでした。ニュージーランドでは、エリザベス女王が最も権威があります。日本の天皇と似ていますね。ニュージーランドでは日本のような、その国独自の元号はなく、西暦を使っています。

日本に来た時、日本人が平成や昭和のような元号と西暦を両方使っているのに驚きました。

そして、月ごとの名前があることにも驚いたことを覚えています。たとえば、五月と皐月のようにです。英語では“May”という呼び名1つしかありません。

「私は1年の中で2番目の月に生まれました」とネイティブスピーカーが言うことは、間違いではないけれど、なんだかおかしいですね。

これからまだ日本について新しい発見やおもしろいことに会えるかなと楽しみです。

皆さん、英語について驚くべき発見をしたことがありますか？